

第2章 安心・安全

◆施策体系

市民・地域・市が協力し安心して暮らせるまちをめざします	1 危機管理・防災
	1 地域防災体制の強化
	2 災害時初動体制の構築
	3 災害応急対策の充実
	4 災害を抑える都市基盤の整備
	5 非常時の体制の強化
	2 消防・救急
	3 防犯
	1 防犯のまちづくりの推進
	2 防犯体制の充実
	4 交通安全
	1 交通安全意識の普及啓発
	2 放置自転車対策の推進
	3 誰もが安心して通行できる交通環境の整備
	4 交通被害者の救済対策の充実
	5 消費生活
	1 健全な消費生活の推進
	2 消費者活動の支援

第1節 危機管理・防災

～ 危機管理意識が高く、自助・共助・公助が連携し、地域防災力の向上をめざすまち ～

2-1-1 地域防災体制の強化

(千円)

優先	消防車両更新整備事業(消防団車両のみ)	危機管理課	既存	H30	17,500
			期間: H29～	H31	未定
	概要	複雑多岐にわたる災害に対処できる消防団体制を計画的に確立するため、所沢市消防団車両管理要綱第20条に基づき、各分団(全10個分団)の消防団車両を16年毎に更新するものである。		H32	未定
				H33	0
消防団の装備充実事業	危機管理課	既存	H30	2,292	
		期間: H27～H32	H31	2,335	
概要	消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律の施行に伴い、消防団の装備が規定されたことを受け、団員の安全確保の装備、救助用器具、情報通信機器等について、全ての消防団詰所等に配備し、消防団の装備の一層の充実及び強化を図るものである。		H32	未定	
			H33		

重要	総合防災訓練事業	危機管理課	重点	既存	H30	2,952	
	自主防災組織育成事業	危機管理課	重点	指標	既存	H30	2,786
	消防団入団促進事業	危機管理課		指標	既存	H30	219

2-1-2 災害時初動体制の構築

2-1-3 災害応急対策の充実

(千円)

最優先	台風21号災害被災者支援事業	危機管理課	既存	H30	9,640
			期間: H29～	H31	未定
	概要	平成29年10月の台風21号による山口中学校西側擁壁の崩壊や道路崩落の被害を受けた6世帯に対し、自宅での生活が再開されるまでの期間「住宅・物品貸与」等の支援を実施する。		H32	未定
				H33	未定
台風21号災害復旧事業(市道5-993号線災害復旧事業)	道路維持課	既存	H30	4,000	
		期間: H29～H30	H31		
概要	平成29年台風21号の大雨の影響により、所沢市立山口中学校用地西側斜面の擁壁が、高さ約15m、横幅約40mに渡り崩壊し、それに伴い市道5-993号線の道路も滑落したことから、住民の生活再建を図るため、早期に道路の復旧工事を行う。		H32		
			H33		
台風21号災害復旧事業(所沢市立山口中学校災害復旧事業)	教育施設課	既存	H30	314,500	
		期間: H29～H31	H31	60,350	
概要	平成29年台風21号の大雨の影響により崩壊した所沢市立山口中学校用地西側斜面の擁壁について、住民の生活再建及び同校の屋内運動場の早期開放や更なる被害の拡大防止のため、早期に復旧工事を行う。		H32		
			H33		

優先	避難行動要支援者支援事業	危機管理課	既存	H30	1,457
			期間: H28～	H31	1,457
	概要	災害発生時に支援を要する要配慮者に対して情報の伝達や安否確認、避難の手助け等地域の中での支援体制を構築するためシステム導入により登録台帳を整備し、最新名簿の迅速な更新と避難支援関係者への早期提供を図るものである。		H32	1,457
				H33	1,457
防災行政無線整備・管理事業	危機管理課	既存	H30	9,668	
		期間: H11～	H31	9,668	
概要	防災行政無線は災害時において市民への情報伝達や災害情報の収集・発信の有効な手段である。今後も正常に機能するよう既設施設の維持管理に努めるものである。		H32	9,668	
			H33	9,668	
耐震性貯水槽管理事業	危機管理課	既存	H30	630	
		期間: H28～	H31	630	
概要	災害時、「水」は多様な用途で使用できる重要なライフラインである。災害等により断水した場合、耐震性貯水槽は有効な給水手段の1つであるため、正常に機能するよう平常時から専門的な維持管理を実施する。		H32	630	
			H33	630	

重要	応急物資備蓄・保守事業	危機管理課	指標	既存	H30	9,794
----	-------------	-------	----	----	-----	-------

2-1-4 災害を抑える都市基盤の整備

(千円)

重要	我が家の耐震診断相談会事業	建築指導課		既存	H30	*事業費は7-7-1「我が家の耐震診断・耐震改修補助事業」に含む
----	---------------	-------	--	----	-----	----------------------------------

2-1-5 非常時の体制の強化

◆◆◆計画期間における目標指標

家具などの転倒防止策を行っている市民の割合		危機管理課				
	H25		H27	H28	H29	H30
現状値	42.3	目標値	44.1	45.0	45.9	46.8
	単位: %	実績値	44.4	44.6	41.0	

【説明】 防災の自助の取り組みの状況を示す指標です。
現状値は、平成25年度の市民意識調査の設問「あなたのご家庭では、家具などの転倒防止策を行っていますか」に対して、「全ての家具に転倒防止策を行っている」「寝室のみ転倒防止策を行っている」「寝室以外の転倒防止策を行っている」と回答した人の割合です。
目標値は、毎年度0.9ポイントの増加をめざすものです。

自主防災組織数		危機管理課				
	H25		H27	H28	H29	H30
現状値	196	目標値	202	205	208	211
	単位: 組織	実績値	205	207	213	

【説明】 防災の共助の取り組みとして地域で活動する組織の数を示す指標です。
現状値は、平成25年度の自主防災組織の数です。
目標値は、毎年度3組織の増加をめざすものです。

備蓄食料の想定必要数に対する備蓄達成率		危機管理課				
	H25		H27	H28	H29	H30
現状値	87.3	目標値	100	100	100	100
	単位: %	実績値	101	97.3	87.9	

【説明】 防災の公助の取り組みの状況を示す指標です。
現状値は、平成25年度の備蓄食料の想定必要数に対する備蓄達成の割合です。
目標値は、毎年度100%をめざすものです。
※想定避難者(10,381名×3食×3日)+救助者1割(9,342食)+訓練での活用(20,000食)=122,771食
→予備を含め想定必要数は13万食

消防団団員定員充足率		危機管理課				
	H25		H27	H28	H29	H30
現状値	98	目標値	100	100	100	100
	単位: %	実績値	99.7	99.1	99.1	

【説明】 地域防災力としての消防団の強化の度合いを示す指標です。
現状値は、平成25年度の地域で活動する消防団員の定員充足の割合です。
目標値は、毎年度100%をめざすものです。

第2節 消防・救急

■ 平成25年4月1日に所沢市・飯能市・狭山市・入間市・日高市で構成する「埼玉西部消防組合」が発足し、これら5市の消防事務(消防団の事務を除く)については共同で処理することとなったため同組合が実施する事業については本実施計画書に掲載していません。

■ 第5次所沢市総合計画前期基本計画のこの節に位置付けられていた「消防力の充実」、「火災予防対策の推進」、「救急体制の充実、救急業務の高度化の推進」、「広域的な消防体制の推進」などの方針については、第5次所沢市総合計画後期基本計画と同時に計画がはじまる、「第1次埼玉西部消防組合総合計画基本計画」の各章(分野別基本方針)に「自律的消防行政の推進」、「消防施設の整備」、「消防力の強化」、「予防行政の推進」、「大規模災害対応力の強化」として位置付けられ、引き続き埼玉西部消防組合が施策を推進します。

■ 「第1次埼玉西部消防組合総合計画基本計画」に掲げる「主なりくみ」を具現化するために実施する事務事業については、「第一次埼玉西部消防組合総合計画実施計画」に示されています。



埼玉西部消防局管内図



消防出初式



消防出初式
特別演技(はしご乗り)
の様子

第3節 防犯

～ 防犯意識が高く、犯罪を起こさせにくいまち ～

2-3-1 防犯のまちづくりの推進

(千円)

優先	空き家利活用等ワンストップ相談事業	危機管理課	指標	既存	H30	0	
			期間: H28～H31		H31	0	
	概要	空き家の解消と管理不全となる空き家の増加抑止を目的に、空き家の利活用等に関するワンストップによる相談窓口を設置する事業である。相談業務については、利活用等に関するノウハウのある民間事業者等と事業協定を締結し、平成29年度から3ヶ年実施する。				H32	
						H33	
	地域安全活動推進事業	危機管理課	重点	既存	H30	970	
期間: H16～				H31	984		
概要	安全で安心な生活を確保するため、市民の防犯意識の高揚を図り、犯罪を起こさせにくい地域環境づくりを行政と地域が一体となって推進するものである。防犯講座の開催やパトロール資器材の貸し出し、街頭キャンペーンや市民大会などを実施している。				H32	984	
					H33	984	
重要	防犯協会交付金	危機管理課		既存	H30	4,000	
	空き家対策事業	危機管理課	指標	既存	H30	216	

2-3-2 防犯体制の充実

(千円)

優先	地域安全活動推進事業	危機管理課	重点		既存	※「2-3-1」と同事業
----	------------	-------	----	--	----	--------------

◆◇◆ 計画期間における目標指標

自主防犯団体組織数		危機管理課				
	H25		H27	H28	H29	H30
現状値	223	目標値	229	232	235	238
単位: 団体		実績値	198	211	213	

【説明】 防犯意識を持った活動団体の組織数を示す指標です。
現状値は、平成25年度の自主防犯団体組織の数です。
目標値は、毎年度3団体の増加をめざすものです。

犯罪発生件数		危機管理課				
	H25		H27	H28	H29	H30
現状値	3,751	目標値	3,528	3,422	3,319	3,219
単位: 件		実績値	3,596	3,141	2,796	

【説明】 防犯に関する取り組みの成果を測る指標です。
現状値は、平成25年度の犯罪発生件数です。
目標値は、毎年度3%の減少をめざすものです。

適正管理を指導した空き家の改善・解決率		危機管理課				
	H25		H27	H28	H29	H30
現状値	58.6	目標値	70.0	70.0	70.0	70.0
単位: %		実績値	69.8	78.3	未確定	

【説明】 犯罪を起こさせにくい地域環境づくりの一環として、管理不全な空き家の是正割合を示す指標です。
現状値は、平成25年度の適正管理の指導により空き家が改善・解決した割合です。
目標値は、毎年度70%以上をめざすものです。

第4節 交通安全

～ 交通弱者を守り、誰もが安心して暮らせるまち ～

2-4-1 交通安全意識の普及啓発

(千円)

重要	交通安全教育推進事業	交通安全課		指標	既存	H30	52,184
	交通安全運動推進事業	交通安全課		指標	既存	H30	3,274

2-4-2 放置自転車対策の推進

(千円)

重要	自転車駐車場整備事業	交通安全課		指標	既存	H30	54,682
	放置自転車対策事業	交通安全課		指標	既存	H30	48,268

2-4-3 誰もが安心して通行できる交通環境の整備

(千円)

重要	道路安全施設整備事業	道路維持課			既存	H30	52,512
----	------------	-------	--	--	----	-----	--------

2-4-4 交通被害者の救済対策の充実

(千円)

重要	交通遺児対策事業	交通安全課			既存	H30	851
	交通災害共済事業	交通安全課			既存	H30	37,400

◆◇◆計画期間における目標指標

交通安全啓発活動の回数		交通安全課				
	H25	目標値	H27	H28	H29	H30
現状値	208		218	223	228	233
単位:回		実績値	252	296	未確定	

【説明】 子どもや高齢者をはじめとした市民への交通安全教育・啓発活動の取り組み実績を示す指標です。現状値は、平成25年度の交通安全啓発活動の回数です。目標値は、毎年度5回の増加をめざすものです。

交通事故(人身事故)発生件数(概数)		交通安全課				
	H25	目標値	H27	H28	H29	H30
現状値	1,497		現状値未満			
単位:件		実績値	1,562	1,266	1,191	

【説明】 交通安全意識の普及啓発や交通環境の整備に対する成果を測る指標です。現状値は、平成25年度(平成25年1年間)の所沢市内における交通事故(人身事故)件数の概数です。目標値は、毎年度、現状値未満をめざすものです。

放置自転車台数		交通安全課				
	H25	目標値	H27	H28	H29	H30
現状値	59		55	53	51	50
単位:台		実績値	42	40	38	

【説明】 市内9駅周辺における駐車秩序の確立状況を示す指標です。現状値は、平成25年度3月の晴れの平日(任意)の市内全体の駅周辺放置自転車台数です。目標値は、平成30年度までに50台をめざすものです。

第5節 消費生活

～ 市民が正しい知識を持ち、安心・安全な消費活動を行えるまち ～

2-5-1 健全な消費生活の推進

(千円)

重要	消費者相談事業	市民相談課 (消費生活センター)			既存	H30	8,945
	計量検査事業	市民相談課 (消費生活センター)			既存	H30	2,072
	消費生活に関する表示の適正化事業	市民相談課 (消費生活センター)			既存	H30	34

2-5-2 消費者活動の支援

(千円)

重要	消費生活啓発事業	市民相談課 (消費生活センター)			既存	H30	2,318
----	----------	---------------------	--	--	----	-----	-------

◆◇◆計画期間における目標指標

消費生活相談の解決度

市民相談課(消費生活センター)

		H25	目標値			
			H27	H28	H29	H30
現状値	98.6	98.6	現状値以上			
単位: %			98.2	98.1	未確定	
実績値						



【説明】 消費生活相談業務の充実度を示す指標です。
現状値は、平成25年度の相談のうち、何らかの解決策を講じることができた件数の割合です。
目標値は、毎年度、現状値以上をめざすものです。

消費に関する講座参加者の理解度

市民相談課(消費生活センター)

		H25	目標値			
			H27	H28	H29	H30
現状値	97.7	97.7	現状値以上			
単位: %			95.9	97.1	未確定	
実績値						



【説明】 消費者教育に対する取り組み状況を示す指標です。
現状値は、平成25年度の講座参加者の理解度です。
目標値は、毎年度、現状値以上をめざすものです。



消費生活展の様子